



ボタンを、わかりやすく

パソコンを扱えるようになると、好きな物事を調べたり、動画を見たりして、余暇の幅が広がります。具体的にはキーボードを使って自分で文字を入力するスキルが必要になります。

「ローマ字入力」は難しい子でも、「かな入力」だとできる場合が多いので、一部の子は「かな入力」でキーボードの練習をしています。

しかし、キーボードは一つひとつのボタンがゴチャゴチャしていてわかりにくいので、慣れていない間は文字を探すだけで苦勞します。



ひとつのボタンに文字や記号がぎっしり!!

そこで市販の透明なキーボードカバーに大きい文字のシールを貼り、被せてみました。



文字の場所がすぐに分かって、練習もはかどっています。

これなら簡単につけ外しができるので、ご家庭でパソコンの導入を検討されている方は、試してみたいはいかがでしょうか。

ヘルパーだより NO.10

Aさんは平成24年8月より一宮まごころの移動サービスを利用されています。8年前に網膜色素変性症で中途失明し(身障1級)、通勤の足として当会の移動サービスを依頼されました。

ドライバーは4人が交代出来るような体制で支援させて頂くことになりました。ご利用回数は行きだけの利用を含めて15日/月ほどの利用で依頼のない日はご主人の送迎で通勤されています。

朝は9時10分に自宅へお迎えに行き、夜は午後7時に職場へお迎えに行きます。職場の出口まではガードマンの方が誘導され、乗車まではドライバーが引き継ぎます。スロープをサッサと歩かれて障害など少しも感じさせません。地形も道順も頭に入っていて「到着です」と伝えなくても、もう降りる準備をされています。

移動サービスはこのような移動困難な方の為のサービスです。しかし、介護保険の認定者や障害手帳を持っておられる方等に限定されており、怪我で通学が出来ない生徒さんの送迎等は法律で禁止されています。ほとんどは通院や買い物の利用が多いのが現状です。

Aさんが障害があっても働けるのは職場の理解が欠かせません。この職場ではAさんが働きやすい環境を会社や回りの仲間の方々が作っておられます。

まごころもこのような支援を依頼されたことをうれしく思っており、今後も協力させていただきたいと思えます。



利用者さんからのことば・・・

遠慮しないで移動の支援を受けられる喜びははかりしれません。職場でもそれぞれのスタイルで思いやりと優しさを持ってサポートしてくれます。



心づれづれ

私の宝物

三十年程前のことです。三人の乳のみ児をかかえ、遊び人の夫は家にほとんど帰らず、ある正月など年を越すお金はもちろん、お米もお餅もない、寂しい正月を迎えたことがあります。人はそんな時考えることは、死のみであります。毎日、どのように死のうかと考えるばかりでした。

そんなある日私は、京都である寺院の屏風に出逢いました。そこにはこう書いてありました。「今、がんばらずにいつがらんと。2・3時間も前に座っていたでしょうか。今まで頑張っているなど感じる生活を送ってこなかった...とふり返り、「よし、死ぬ前に子供三人連れて死んだつもりで、これから人生を生きよう。」と決心したのであります。

その後、介護の職に携わりとても大勢の方々に出逢い、楽しい毎日を送ってまいりました。「困った人のためになら何でもする。一緒に働く人は大切に。」がモットーです。その後数十年間、世間の人や、たまには仲間からもどんなことを誹謗中傷されようが、先の二つからはぶれずにやってまいりました。

そうしたら、不思議なことばかりが起こるのであります。例えば、今日2月1日にオープンする小規模多機能『厨やおちゑ』のことです。まず最初にとっても理解のある建設会社の社長に出逢えたこと。その後、鶴舞でそんな新しいことをするのならと、有名デザイナー(私は知らなかったのですが)の理解と協力が得られ、そしてそこからまた、食に対するすばらしいカリスマ的若者社長に出逢え、そのみなさまの協力のもとオープンすることができるのです。

私の創りたいと考える「人に優しく、温かく、そして、楽しい居場所作り」を心からお応援してくれている法人顧問の社労士事務所、会計事務所等々、取り上げられない程の大勢の方々のおかげです。そのご縁で今日の姿があります。

人は土地、家屋、お金等の財産に執着しますが、私は、天国へ旅立ったおじいちゃん、おばあちゃんに身をもって教えていただきました。何も持っては行けないと。

今一番、強く感じていることは、財産、宝は人であるということです。もちろん私を誹謗中傷してくれた方も含め、全ての方々が私にとっては財産であり、一番大切にしなければならぬ宝だと思うのであります。

ご縁をいただいたすべての方に感謝をこめて、筆をおきます。 合掌

特定非営利活動法人かくれんぼ 理事長 水野千恵子

デイサービス通信



意欲を引き出す活動

以前のデイサービスは「家族の休息のため、食事や入浴を提供してくれて預かってくれるところ」という利用者の方のイメージが強かったかもしれません。しかし昨今、デイサービスは「在宅生活の中で生きがいや楽しみを持てる場所」というように、利用者側の意識も変わってきているのではないのでしょうか。

デイサービスでは、その方に合った過ごし方、方法でその方自身が満足できること、チャレンジしてみたいことを叶えるものだと思います。

『デイサービスまごころ』では、毎回「おやつ作り」と「作品作り」を提案させていただき、興味のある方はスタッフと共同で活動を行っています。また配膳・下膳などできることへの役割を持つて行なってもらっています。

利用者が喜んで生き活きと取り組んでくれる活動を提案する。デイサービスでの活動が利用者の可能性に目を向けるきっかけとなるよう、これからも支援のあり方を考えて行きたいと思っています。



初釜、書初め、双六、福笑い等、季節の行事を行いました。

